

Made in Japanの履き心地とデザイン性を追求
2013年5月11日(土) タビオが香港初出店
「Tabio ハイサンプレイス店」、「Tabio TMTプラザ店」オープン

Made in Japan ならではの繊細な履き心地とデザイン性を兼ね備えた靴下を製造・販売するタビオ株式会社(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:越智勝寛、以下タビオ)は、2013年5月11日(土)、香港での最初の出店店舗として、香港島・銅鑼湾のハイサンプレイス(Hysan Place)に「Tabioハイサンプレイス店」を、屯門のTMTプラザ(屯門市廣場)に「Tabio TMTプラザ店」を、2店同時にオープンします。

■出店の背景と狙い

タビオは、世界最高峰と言われる日本の靴下生産技術を駆使して、「繊細さ」と「履き心地」を追求した靴下を、「世界の方々に履いていただきたい」という想いから、2002年3月より海外展開を開始しました。2013年3月現在、ロンドンに4店舗、パリに2店舗、台湾に1店舗を展開しています。

今回は、そのノウハウをもとに、経済成長を続けている香港へ初出店します。香港では、日本のファッション雑誌が発売されており、「靴下屋」および「Tabio」ブランドの認知度は高いと考えています。2014年に予定している香港での「Tabio」単独店舗の出店に向け、まずは、都心型ショッピングモール「ハイサンプレイス」と、郊外型新興住宅地区に位置するショッピングモール「TMTプラザ」という、全く異なる商圈にテスト販売と位置づけたコーナーを展開することで、香港の人々の嗜好やニーズの把握に努めます。両店とも、スポーツハウスグループが展開する靴の小売店舗である「CPU」店舗の一角を使用したコーナー展開です。

両店ともに、1年を通して比較的暖かい香港の気候を考慮し、薄手やメッシュ、丈が短い等の商品を中心に、レディースソックス、タイツ、レギンスなど約1,800の商品の展開からスタートし、今秋にはメンズやTABIO SPORTSなど取り扱いラインナップを拡大するとともに、追加店舗の出店も予定しています。

Tabio ハイサンプレイス店



Tabio TMTプラザ店



■「Tabio ハイサンプライス店」について

「Tabio ハイサンプライス店」は、2013年5月11日(土)、香港島・銅鑼灣(Causeway Bay)の商業施設・ハイサンプライス(Hysan Place)内にオープンします。香港島の北岸に位置する銅鑼灣は、ショッピング施設や娯楽施設が集まり、香港で最も若者や観光客に人気の繁華街です。そんな銅鑼灣に2012年8月にオープンした「ハイサンプライス」は地下2階、地上14階の全17フロアを有し、ファッションやコスメ、レストランなど約120店舗が出店するショッピングモールです。7階は靴の店舗のみで構成されており、新しい足元のコーディネート提案するには格好の立地になっています。



【店舗概要】

- 店舗 : Tabio ハイサンプライス店
- オープン日 : 2013年5月11日(土)
- 営業時間 : 11時～22時
- 売り場スケール : 壁面900mm×7スパン=計6.3m
- 住所 : Shop No. 712-714, 7F, Hysan Place, 500 Hennessy Road, Causeway Bay, HONG KONG
- 取り扱い商品 : レディース、タイツ、レギンスなど約1,800足
- 価格帯 : HK \$ 50～320(約600～3,800円)
- 中心価格帯 : HK\$80～100(約960～1,200円)
- 年齢ターゲット : 10代後半～30歳女性

■「Tabio TMTプラザ店」について

「Tabio TMTプラザ店」は2013年5月11日(土)に屯門のTMTプラザ(屯門市廣場)にオープンします。新界地区(New Territory)に位置する屯門は近年、周辺の交通インフラの整備に伴い、新たな商業圏として注目を集めている街のひとつで、TMTプラザは香港中心部から地下鉄で30分程度という場所に位置する郊外型のショッピングモールです。ファストファッションをはじめ、コスメ、レストランなど約400のテナント数を誇り、平日、週末問わず、常に地元の人たちで賑わっています。



【店舗概要】

- 店舗 : Tabio TMTプラザ店
- オープン日 : 2013年5月11日(土)
- 営業時間 : 11時～22時
- 売り場スケール : 壁面1,200mm×5スパン=計6.0m
- 住所 : Shop 1209-1211, 1F, Tuen Mun Town Plaza, Phase 1, 1 Tuen Shun Street, Tuen Mun, N.T., HONG KONG
- 取り扱い商品 : レディース、タイツ、レギンスなど約1,800足
- 価格帯 : HK \$ 50～320(約600～3,800円)
- 中心価格帯 : HK\$80～100(約960～1,200円)
- 年齢ターゲット : 10代後半～30歳女性

※HK\$1=12円換算

タビオ株式会社

タビオ株式会社は1968年に創業し、45年の歳月の中で、「靴下を履いていることを忘れてしまうようなフィット感」を追求してまいりました。繊細な履き心地の靴下をつくるために、長年の経験と技術を積んだ日本の職人たちがひとつひとつ丁寧に編み立てています。現在では「靴下屋」「タビオ オム」「ショセツ」の靴下専門店ブランドを日本全国に287店舗(2013年4月末現在)展開し「Tabio」名の店舗をパリとロンドンに展開。Made in Japanの履き心地とデザイン性は、ファッションの本場パリでも高い評価を得ています。

■会社概要

社名) タビオ株式会社 <大証第二部 証券コード:2668> 創業) 1968年3月<設立 1977年3月> 代表者) 代表取締役社長 越智 勝寛
 本社) 大阪市浪速区難波中2-10-70 なんばパークス内パークスタワー16F 東京支店) 渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー31F
 事業内容) 靴下の企画・製造・卸・小売、直営店 靴下屋・タビオ・タビオ オム・ショセツの展開、フランチャイズチェーン 靴下屋の展開
 ホームページ) <http://www.tabio.com/> リリースURL) <http://www.tabio.com/jp/corporate/news/2423/>